

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、東医療センター耳鼻咽喉科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究課題名】 交代性顔面神経における先行麻痺側後遺症へのリハビリテーション介入

【研究対象者】

顔面神経麻痺のために、2010年4月1日から2019年3月31日の間に治療・検査を受けた方。

【利用している診療情報等の項目】

診療情報等：診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患名、顔面運動の経過（麻痺・後遺症のレベルを匿名・数値化したデータを利用）、血液検査、MRIなど画像検査、筋電図など生理検査の結果

【利用の目的】 （遺伝子解析研究：無）

●交代性・反復性顔面神経麻痺の疫学的研究

ごくまれですが、顔面神経麻痺が時間をおいて、反対側や、繰り返し同じ側におこることがわかっています。片側だけ、一回きりの患者さんとの違いを探します。

●以前の麻痺による後遺症へのリハビリテーションの方法と効果の検討

顔面神経麻痺は、顔が動き始めても、目と口が一緒に動く、こわばり、けいれん、なみだ目など「後遺症」と呼ばれる症状が残ることがあります。新しく起こった麻痺と同時に、以前の麻痺による後遺症のリハビリテーションを行う効果を検討します。

【利用期間】 倫理委員会承認後より2022年3月までの間（予定）

【この研究での診療情報等の取扱い】

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：東京女子医科大学 東医療センター耳鼻咽喉科 教授・診療部長 須納瀬 弘

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 東医療センター耳鼻咽喉科 金子 富美恵

電話：03-3810-1111（内線4141）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-3894-7988

Eメール：kaneko.fumie@twmu.ac.jp